

平成30年度 学校自己評価システムシート (武南高等学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	国公立大学等進学実績の向上と豊かな人間性の確立を目標の柱とし、生徒の能力を顕在化させるべく教職員一人一人が濃密かつ活気ある授業の創造に全力で取り組み、21世紀の社会に貢献できる創造力と自主自立の精神に満ちた人間を育成する
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 学力の向上と進学実績の更なる飛躍 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者	4名
-------	----

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価 (3月31日現在)			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業の充実・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に参加する授業、ICTの活用等授業力向上を進める ・受験を意識した授業改善を進め、センター試験とともに2次対策を行う ・模試問題分析を各教科で行い、授業に反映させる ・授業時間を確保し、圧倒的基礎力を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ・録画や授業観察シートを用いた授業評価、教員間の授業参観による授業力向上 ・創造力育成の観点で授業改善 ・ICTを活用した授業改善、学力向上策を推進していく ・模試事前指導を各教科で行い、生徒に自信をつけさせる ・毎日の予習・復習の奨励と小さな時間を積み上げる指導を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上に録画や授業観察シートを用いた管理職との意見交換回数を増やす。 ・創造力育成の観点からの取り組みが増えたか ・ICT活用による授業改善が進んだか ・センター5教科7科目受験者100名以上 ・模試・定期考査を活用しての学力向上の成果 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット導入によりVTRを用いた授業観察で授業力向上が図れた。 ・主体的対話的で深い学びへの授業改善に取り組んでいる ・タブレット、プロジェクターの活用が進んでいる。 ・5教科72名、4教科28名、3教科161名、2教科2名 ・データ分析は進んできた。学力向上へ具体的方策は不十分 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の大切さの再認識、録画を用いる等、授業観察の充実を図る ・ICTの一層の活用と新課程への円滑な移行、大学入試改革への適切な対応を可能にする授業改善の推進を図る ・現在の教育活動の中でICTを活用した方が効果的なものを見極め ・文理分け指導からの脱却、STEM教育の充実 ・模試の一層の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語等で全国平均を上回ったことは評価できる。基礎学力、問題解決能力、創造力が高まることを大いに期待する。 ・同時に、「受験のためだけの学力ではない力をつける」ことについて、全く同感である。人間力を高めていくことは、学校教育の使命である。総合的な力をつけていく取り組みに期待する。 ・タブレット使用により授業が改善されて、より充実した授業がなされたことと評価する。 ・授業ごとに目的、ねらいを明確にした授業を。 ・センター試験・模試の活用により効果的な対策をお願いしたい。 ・生徒からの評価を取り入れて頂きたい。
2	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクール、授業公開を充実して学校を開く ・学校の教育活動を中学に広報する ・入試説明会、個別相談会の改善充実 ・蕨東中学校との交流授業を進める ・広報媒体を活用して正確迅速な情報発信を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を改善して中学生保護者の参加者増を図る ・武南の教育活動、卒業生の進路を各中学校に伝える ・H31年度入試基準の改善 ・中高一貫部と連携した広報 ・「高校の授業を体験してみよう」7月、5教科で実施 ・学校の教育活動を印刷物、HP等で積極的に発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年参加者数を上回る ・川口、蕨、戸田等地元中学に加え入学者の多い中学への効果的な訪問実施 ・受験者増に努め、特に単願単願受験者を増やす。 ・効果的な交流授業の実施 ・武南中学高校新聞の発行 ・HPをリメイクで効果的な更新による積極的発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年比で入試説明会343名増、個別相談420名増 ・夏季休業中に管理職による川口、蕨、戸田、さいたまの全中学訪問 ・単願受験者数、入学者数ともに増加 ・蕨東中との交流授業実施 ・中学校訪問用の新聞発行 ・ホームページの更新回数も内容も向上している 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入試説明会改善充実、武南高校の魅力創りと発信 ・効果的な中学校訪問の実施 ・適正規模の入学者数の確保 ・蕨東中との交流授業の充実と武南高校教員の中学教育への理解を深める ・ホームページの充実と積極的配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨東中との交流授業の継続と充実を期待する。また、そのほかの中高連携ができるのであれば、相互に協力し合っていきたい。 ・野球部やサッカー部なども東中、塚小の子どもたちと一緒にできる事があっても良いのではないかと。 ・管理職の積極的な広報活動の取組による入学者の増加に対し大変評価できる。今後も武南高校を第一志望と考える生徒を増やす試みはぜひ実施して頂きたい。 ・学校側からだけでなく、時には受験生やその保護者の視線に立った情報の発信をお願いしたい ・HPの充実が学校への関心や理解者、支援者を増加させるので更なる充実を期待する。
3	学力の向上と進学実績の更なる飛躍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間の確保に学校を挙げて取り組み、学力向上を進める ・自学自習の時間確保と環境整備 ・管理職、学年、進路指導部の連携を進め、第一志望の大学に合格できる指導体制を整える ・進路検討会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で指導法を工夫して早朝学習を進める ・長期休業中の進路補講を改善する(時間調整、シブス活用) ・志を高める講演会、見学会 ・進路・出願検討会の充実・進路カードを整理し指導に資する資料を提供する ・ICT活用による効果的進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で早朝学習の参加者が増えたか、達成感を与えられたか ・毎日行う小テストをすべての生徒がクリアできたか ・進路検討会の一層の充実 ・進んだ取組を研修会で取り上げる ・国公立40、早慶上理30、GMARCH100をこえたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝自習課題等の工夫をしているが、参加者数は横ばいである。 ・小テストは定着している効果を実感できるように工夫 ・検討会の改善が進んだ ・次期学習指導要領、総合的な探究についての研修会実施 ・国公立は29、早慶上理は28、GMARCHは78の結果である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝自習の習慣化の推進 ・ICTの一層の活用を図り、効果的な学力向上策を開発する ・定着した小テストを活かし達成感、充実感が持てるものとする ・学年、時期に応じた進路検討会の効果的な実施を推進する ・次期学習指導要領への円滑な移行と総合的な探究による武南高校の特色化 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝学習の充実は今後も期待したい。学校はなかなか時間をつくり出せない。限られた時間をいかに充実させるか、生徒が本気になれるのか、そこに工夫を加えていただければと思う。全生徒が各回の小テストを理解し確実に次の小テストへ取り組む仕組み。頑張った生徒を何らかの形で賞賛する等。 ・学力の向上は小さな時間の積み重ねでも効果はある。受験生へ時間の使い方の指導も。 ・ICT活用の授業の充実とともに、コミュニケーションを図れる活気ある授業の展開に期待する。
4	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・凡事を徹底し、所作・身だしなみ等内面を鍛え、社会性を身につけさせる ・職員の意識改革を進め、生徒に自ら範を示す ・挨拶は学校の顔、挨拶を励行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・凡事徹底：時間厳守、服装を正す、整理整頓、授業集中 ・職員相互のコミュニケーションをとり複数の目で指導 ・職員自らが範を示し、生徒、保護者から尊敬信頼を得る ・挨拶は相手に届くこと、大きな声で相手に届ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ目線で全員で繰り返し指導する ・毎時間の授業で凡事徹底が指導できたか ・保護者、近隣住民の評価は上がったか ・生徒の学校生活の充実度は上がったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指導対象者は1.5%横ばい。 ・時間厳守、実施要項の決まりを守り充実した行事の実施ができた ・近隣からの苦情は減少したが引き続き登下校指導の徹底 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き凡事徹底を貫き、各指導の本質を生徒に理解させる ・自転車通学者43%と増加したこともあり、交通安全指導の充実 ・余裕を持った早めの登校で交通安全と朝自習の推進を図る ・ネットモラルの確立と浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で心配されているネットモラルに関する具体的方策が必要かと思う。次年度への課題と捉え、積極的な取組を期待する。 ・凡事徹底は永遠のテーマである。継続により習慣の意識を身に付けさせる。これは高校生に限らず、社会に出ても必要なことである。挨拶が学校中に響きわたる、活気あふれる日常を期待する。 ・自転車通学者への指導(ながらスマホ等禁止)の徹底で無事故、無違反を目指す。
5	部活動・学校行事等の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> ・文武両立は学校の校是、厳しい条件の下、部活動の振興を進める ・生徒の意識を高める学校行事を進める ・生徒会は新取組に挑戦。地域の活動に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動が人格を陶冶することを広く学校内外に広報する。 ・各種壮行会を実施し、母校愛を育てる ・父母の会、後援会と連携し、環境美化保全活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東大会、インターハイ、国体等への出場を目指す ・優れた成績をあげた生徒を顕彰する ・学期毎、西川口駅から本校への通学路クリーン作戦実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳、陸上、ダンス、将棋が全国大会、柔道が関東大会出場 ・水泳の国際大会での活躍もあり多くの生徒の顕彰を実施 ・父母の会、後援会からの参加もありクリーン作戦を実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・文武創造の実現可能な環境創りを推進する ・探究の時間を活用した部活動の活性化 ・クリーン作戦、部活動、生徒会などによる地域貢献の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活の国際大会、全国大会、関東大会など、更なる飛躍を期待する。引き続き成果が出るよう応援したい。 ・地域行事への参加に感謝。今後も幅広く積極的にアピールを。クリーン作戦は生徒会を中心に父母の会も協力し、しっかりと取り組んでいきたい。武南生は地域住民に支えられており、その地域社会への恩返しという意味もある。